

報道資料

2013年6月18日
株式会社メディアグローバルリンクス

FIFA コンフェデレーションズカップ 2013 ブラジル大会における全スタジアムからの 放送用映像伝送装置として「MD8000」が採用されました

株式会社メディアグローバルリンクス(以下「メディアグローバルリンクス」、代表取締役社長 林 英一)は、FIFA コンフェデレーションズカップ 2013 ブラジル大会の全6か所のスタジアムとベロオリゾンテに設置された国際放送センターとを結ぶ放送用ネットワークにおける映像伝送装置として「MD8000」が採用されたと発表しました。

FIFA コンフェデレーションズカップは、国際サッカー連盟が主催する、各大陸のチャンピオンチームによって争われるサッカーの国際大会で、ワールドカップのプレ大会と位置付けられています。今回は2014年ワールドカップ開催地であるブラジルで行われ、ワールドカップで使われる競技場で全16試合が行われます。大会運営も翌年のワールドカップを意識して行われており、現地の放送用ネットワークではメディアグローバルリンクスの「MD8000」がテレビ中継用映像伝送装置として使われています。

メディアグローバルリンクスの「MD8000」は、高品質のHD映像を非圧縮のままIP伝送できる機能など、商業価値の高い放送映像を高い信頼性と安全性を保ったまま効率的に伝送できる装置です。ワールドカップをはじめとする数多くの世界的なスポーツイベントの映像伝送装置として採用された実績があり、世界の主要国で放送用ネットワークのインフラを担っています。

- 本件についてのお問い合わせ先:
株式会社メディアグローバルリンクス
TEL 044-589-3440